

平成22年第14回福岡県教育委員会会議（臨時会）会議録

1 開催日時

平成22年7月22日（木）13時30分から14時17分まで

2 場所

福岡県庁4階 教育委員会会議室

3 出席委員

清原雅彦、久留百合子、住吉徳彦、太田浩二、二子石竜子
杉光誠（教育長）

4 欠席委員

なし

5 出席事務局職員

教育次長 荒巻俊彦、理事 中嶋利昭、総務部長 今田義雄、
教育企画部長 清田嘉治、教育振興部長 森下博輝、
総務課長 西牟田龍治、財務課長 高田光邦、文化財保護課長 平川昌弘、
企画調整課長 本園明、社会教育課長 木原忠、教職員課長 川添弘人、
施設課長 辰田一郎、高校教育課長 南野圭史、義務教育課長 吉田法稔、
人権・同和教育課長 森田耕治、体育スポーツ健康課長 梅田保人

6 会議

13時30分、清原委員長が開会を宣言し、本日の議題について非公開発議の有無の確認を行った。

本日の議題に対して非公開の発議はなく、公開と決定された。

（1）協議

- ・平成22年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価（平成21年度対象）について

本園企画調整課長から、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価に関して、実施の趣旨、経緯、対象、評価項目、評価の方法及び観点、概要、今後の日程等について説明があった。

次いで審議が行われ、清原委員長から、学識経験者の意見のなかで、「小中一貫教育の意義と効果を県民に理解してもらうように努めていただき

たい。」との意見が出されているが、このことについてどう考えているのかとの質問があった。これに対し、本園企画調整課長から、平成21年度に八女市に小中一貫校である上陽北浜（ほくぜい）学園が開校したところであり、そこでの研究成果等を検証して、今後県民に対する啓発に努めていきたい旨の説明があった。

また、久留委員から、教育委員会会議自体はいろいろな意見が出され活性化されてきてはいるものの、例えば学校訪問や教育施設の視察等、会議以外の活動はまだ少なく、また傍聴人も少ないなどの現状を勘案すれば、教育委員会の活動状況については、もう少し厳しく評価した方がいいのではないかとの意見があった。これに対し、本園企画調整課長から、評価の内容については、再度検討したい旨の説明があった。

また、二子石委員から、学識経験者の意見のなかで、「執行状況の点検・評価を行う際、達成できなかった点の究明をすることは、次年度に向けた取組の足かせになることはない。」との意見が出されているが、私もそう思うので、是非達成できなかった点の原因究明を徹底させて、次年度に生かしていただきたいとの意見があった。これに対し、本園企画調整課長から、できるだけ多くの成果を具体的に取りあげるように努めており、また各課においてもこの点検・評価の結果を次年度の施策に生かしているところである旨の説明があった。

また、住吉委員から、教育委員会の会議については、特に重要な案件等は事前の委員協議会（勉強会）で協議されており、そこで活発な議論がなされている現状を踏まえれば、教育委員会会議だけでなく、委員協議会（勉強会）についても議題等をホームページに公開するなどの情報発信に努めていただきたいとの要望があった。また、この点検・評価も本年度で3年目となるが、数値目標もかなり盛り込まれてきており、当初と比較すればかなり分かりやすくなったと思うが、今後更に充実させるために、施策の実施結果だけでなく、その結果を受けて具体的にどのように改善して、どういうことに取り組んでいくのかも併せて盛り込んでいけば、次に繋がっていくと思われるので、その点は改善の余地があるのではないかとの意見があった。これに対し、本園企画調整課長から、その点は今後検討して改善していきたいとの説明があった。

以上で協議は終了し、このことについては、次回の教育委員会で議案として審議することとなった。

清原委員長が閉会を宣言し、14時17分閉会した。